

笠間に陸上界の
ヒーローが誕生

笠間高校3年 中村 太地君 だい ち 第1回ユースオリンピックへ出場

笠間高校3年の中村太地君は、昨年の日本ユース陸上選手権で、大会新記録の優勝を果たし、円盤投げの日本代表候補となり、今年4月、正式に日本代表に決定。茨城県高校総合体育大会では、圧倒的な力を見せつけ、男子投てき3冠を達成。シンガポールで開かれたユースオリンピック(五輪)アジア地域予選大会で見事2位に入賞し、8月に同国で開かれる第1回ユースオリンピックに出場する。



ユースオリンピックアジア地域予選大会オールジャパンのメンバーと

◆第63回茨城県高等学校陸上
競技対校選手権大会

砲丸投げ・ハンマー投げ・円
盤投げで投てき3冠を達成

5月12日～15日の4日間、
ひたちなか市の笠松運動公園
陸上競技場で、第63回茨城県
高等学校陸上競技対校選手権
大会が行われた。

笠間高校陸上競技部に所属
する中村太地君(3年)は、
4月下旬に同競技場で行われ
た平成22年水戸地区総体陸上
競技大会で円盤投げ、砲丸投
げ、ハンマー投げの3種目に
出場、いずれも自己の持つ大
会記録を更新して、県大会に
臨んだ。昨年、砲丸投げの笠
松記録を更新し、掲示板に名
前を載せたばかりだが、今回
は更なる記録更新が期待され
た。彼の一投一投に会場の空
気が静まりかえる大きなプ
レッシヤーの中、試合は進ん
だ。結果は、自己新記録こそ
ならなかったものの、砲丸投
げ15.74m、ハンマー投げ54.
33m、円盤投げ48.14mの大
会新記録、抜群の安定感と圧
倒的な力を見せつけ、見事男
子投てき3冠を達成し、笠間
高校の茨城県総合5位入賞に
大きく貢献した。

◆ユースオリンピックアジア
地域予選大会(5/22～23)

見事2位に入賞し、第1回
ユース五輪への出場を決めた

アジア各国代表9人によ
り、男子円盤投げ予選スタ
ート。予選は3本投げ、上位8
名が決勝に進みさらに3本投
げ、順位が決定する。

大会の最初の投てき者は中
村君だった。かなりの緊張の
中でのスタート。2投目以降
の流れを作るために打合せど
おりの投法で、45.68m。予
定未満だったが、流れを重視
し通常の投法に変更。

2投目、43.25m。緊張が
取れない様子、他の選手も同
様だった。ついには46.47m
を超えないと予選落ちの状況
になった。

会話をできるだけ多くし、
フォームチェックよりリラッ
クスさせることを優先。3投
目51.18m。予選2位通過。
他の選手たちは、体が大きく、
安心できる記録ではない。

決勝では、抜きつ抜かれつ
のデットヒートの中、記録を
52.88mまで伸ばし、見事2
位に入賞し、シンガポールで
開催される第1回ユースオリ
ンピックへの出場を決めた。

インタビュー

中村君と陸上部顧問の棚井先生にユースオリンピックでの抱負を伺いました。



笠間高校3年
中村 太地君

5月22日～23日にシンガポールで行われたユースオリンピックアジア地域予選の円盤投げで2位に入賞し、本選であるユースオリンピックに挑戦できることになりました。

本選の会場も予選と同じシンガポールで行われます。シンガポールの環境は、日本とは大きく違うので予選のときは、コンディションを調整するのに神経を使いました。

今回は、2回目となるので前回の経験を活かし、より競技に集中できるように工夫するつもりです。

大会に参加するに当たって、一番心がけたいことは、「日本の代表として、堂々とした態度で挑む」ことです。また、日本代表であると同時に、笠間の代表として、がんばりたいです。周りの雰囲気にもまれることなく、自分の力を出し切り、自己新記録で優勝できるよう努力するつもりです。

応援よろしくお願いします。



陸上部顧問
棚井 徳久先生

海外2戦目ということもあり、前回のアジア地域予選よりは、落ち着いて参加できると思います。

全国インターハイ直後の大会参加となりますが、年間計画の中で記録を出せる時期に入っているので、投てき技術も良い状態で臨めると思います。

世界の強豪の集まる中ではありますが、本人との話し合いの結果、「せっかくのユースオリンピック、優勝を狙おう。」と決めました。参加に向けた方向性は出たので、しっかりと準備し、自分らしさを表現できればと思っています。

多くの方々に励ましのお言葉をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。大きな期待と大きな不安を背負っての参加となりますが、背負った重さをしっかりと受け止め、「勇気」と「冷静さ」を持って勝負したいと思います。

応援よろしくお願いします。

ユースオリンピックとは

2007年の国際オリンピック委員会総会で新たに開催が決定した青少年対象(14歳以上18歳以下)のオリンピック



笠間高校陸上競技部メンバー



アジア地域予選大会壮行会でクラスメートと

応援メッセージ

笠間高等学校 生徒会長 岩下 間君ひんより

ユースオリンピックに出場を決めた中村君、おめでとう。後悔を残す大会にだけはしないでください。

中村君は、笠間高校はもとより、日本を背負っています。しかし、最後は自分のために結果を残してくれることを期待しています。

僕ら在校生は、中村君に心からの声援を送ります。頑張ってください。

笠間高等学校 石崎 弘美校長より

中村太地君、世界ユース出場おめでとう。

笠間高校に入学してから本格的に円盤投げを始めた中村君が、日本代表に選ばれ、アジアユース、世界ユースへと活躍の場を広げていく姿は、他の笠間高校生に自分もがんばろう、という気持ちと誇りを持たせてくれました。

8月に行われる世界ユースでは、日頃の練習の成果を存分に発揮し、悔いの残らない競技をしてきてください。私たち笠間高校教職員、生徒一同、心より応援しています。